

愛媛県内の高齢者虐待対応の状況

1 養介護施設従事者等による高齢者虐待の対応状況

① 相談・通報件数と虐待件数

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
市町への相談・通報	18	19	15	34	23
そのうち虐待判断	7	8	4	13	12
県が直接、相談・通報を受理	0	0	0	0	0
そのうち虐待判断	0	0	0	0	0

※虐待判断件数は、当該年度内に通報等を受理した事例及び当該年度以前に通報等を受理し、事実確認調査が当該年度となった事例について集計

② 相談・通報者の内訳（市町への相談・通報 重複あり）

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
本人による届出	0	1	0	0	0
家族・親族	2	3	2	2	4
当該施設・事業所職員	6	7	6	12	4
当該施設・事業所元職員	1	2	0	3	4
当該施設・事業所管理者等	3	3	1	5	4
医療機関従事者（医師含む）	1	0	0	0	1
介護支援専門員	3	2	1	3	0
介護サービス相談員	0	1	0	0	0
地域包括支援センター職員	0	0	0	1	0
社会福祉協議会職員	0	0	1	1	0
国民健康保険団体連合会	0	0	0	0	0
県から連絡	0	0	0	0	0
警察	0	0	0	2	0
その他（市町職員含む）	2	2	2	4	7
不明（匿名を含む）	4	0	3	5	0

※当該年度に通報等を受理した事例について集計

③ 事実確認の対象となった養介護施設・事業所

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
特別養護老人ホーム	2	2	1	2	4
介護老人保健施設	0	2	0	2	0
介護医療院・介護療養型医療施設	1	0	0	1	0
認知症対応型共同生活介護	2	0	1	4	2
（住宅型）有料老人ホーム	0	1	1	0	1
（介護付き）有料老人ホーム	0	2	0	0	1
小規模多機能型居宅介護等	0	1	0	0	0
軽費老人ホーム	0	0	0	1	0
養護老人ホーム	0	0	0	2	0
短期入所施設	1	0	0	1	3
訪問介護等	0	0	0	0	0
通所介護等	1	0	1	0	1
居宅介護支援等	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

※当該年度に虐待と判断された事例についての施設の種別

④ 令和4年度に虐待判断された事案

○事案1

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	(住宅型)有料老人ホーム 施設全体
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護4 他1名
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	身体拘束(つなぎ服の着用)
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案2

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	(介護付き)有料老人ホーム 施設全体
被虐待者の状況	男性 70歳代 要介護4 他23名
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	身体拘束(ベッド柵の設置)
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案3

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	短期入所生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	身体拘束(ミトンの着用)
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案4

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	短期入所生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護2
虐待の類型	介護等放棄、心理的虐待
虐待の内容	介護の放置
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案5

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	地域密着型特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護4
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	身体拘束（ベッド柵の設置）
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案6

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護3 他2名
虐待の類型	身体的虐待、心理的虐待
虐待の内容	利用者への暴力的行為及び暴言
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案7

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護5
虐待の類型	心理的虐待
虐待の内容	利用者を脅かす
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案8

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	通所介護 施設全体
被虐待者の状況	男性 80歳代 要介護5
虐待の類型	身体的虐待
虐待の内容	身体拘束（転落防止ベルトの着用）
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案9

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 介護職
被虐待者の状況	男性 70歳代 要介護4
虐待の種類	心理的虐待
虐待の内容	利用者への暴言
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案10

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	短期入所生活介護 介護職
被虐待者の状況	女性 80歳代 要介護3
虐待の種類	介護等放棄、心理的虐待
虐待の内容	介護の放置
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案11

施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	地域密着型特別養護老人ホーム 介護職
被虐待者の状況	女性 90歳代 要介護3
虐待の種類	身体的虐待、介護等放棄、心理的虐待
虐待の内容	雑な介助
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

○事案12

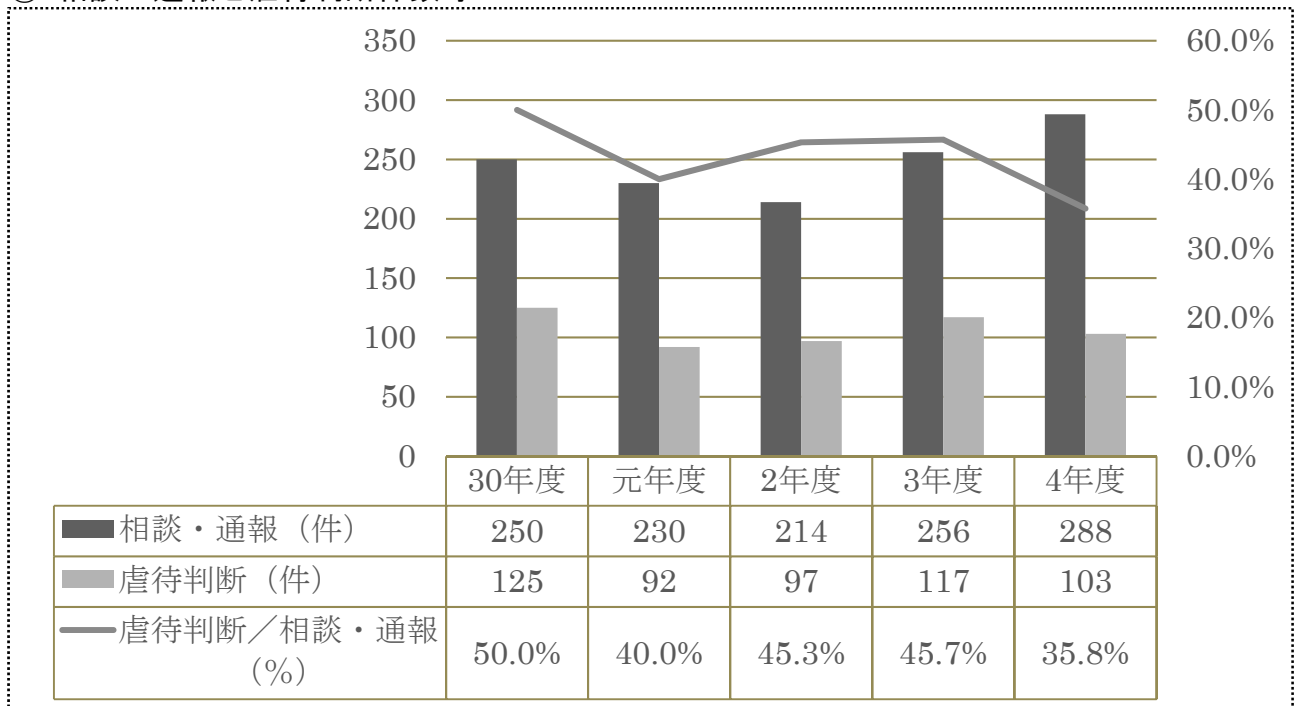
施設・事業所の種別・養介護施設従事者等の職種	認知症対応型共同生活介護 管理職
被虐待者の状況	不特定
虐待の種類	心理的虐待
虐待の内容	利用者への暴言
市町が行った対応	指導及び改善計画の提出依頼
施設・事業所が取った対応	改善計画書の提出

⑤ 虐待の発生要因（複数回答）

内容	件数	割合（％）
教育・知識・介護技術等に関する問題	7件	30.5
職員のストレスや感情コントロールの問題	5件	21.8
虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ、管理体制等	3件	13.0
倫理観や理念の欠如	3件	13.0
人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ	2件	8.7
虐待を行った職員の性格や資質の問題	3件	13.0

2 養護者による高齢者虐待の対応状況

① 相談・通報と虐待判断件数等



※虐待判断件数は、当該年度内に通報等を受理した事例及び当該年度以前に通報等を受理し、事実確認が当該年度となった事例について集計

② 相談・通報者

	介護支援専門員	介護保険事業所職員	医療機関従事者	近隣住民・知人	民生委員	被虐待者本人	家族・親族	虐待者自身	当該市町村行政職員	警察	その他	不明（匿名含む）	合計
人数	44	34	10	5	6	10	10	4	23	138	10	2	296
構成割合（％）	14.8	11.4	3.4	1.7	2.0	3.4	3.4	1.4	7.8	46.6	3.4	0.7	100.0

※当該年度に通報等を受理した事例について集計
構成割合は、相談・通報者の合計人数に対するもの

- ・虐待判断件数は昨年度より減少したが、相談・通報件数は年々増加傾向にある。
- ・相談・通報者は、警察のほか介護支援専門員からの相談・通報も多い。

③ 虐待の種別・類型

	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	合計(累計)	合計(人数)
人数	83	12	36	0	19	150	105
構成割合(%)	79.0	11.4	34.3	0.0	18.1	-	-

※当該年度に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

【過去5カ年度の推移】

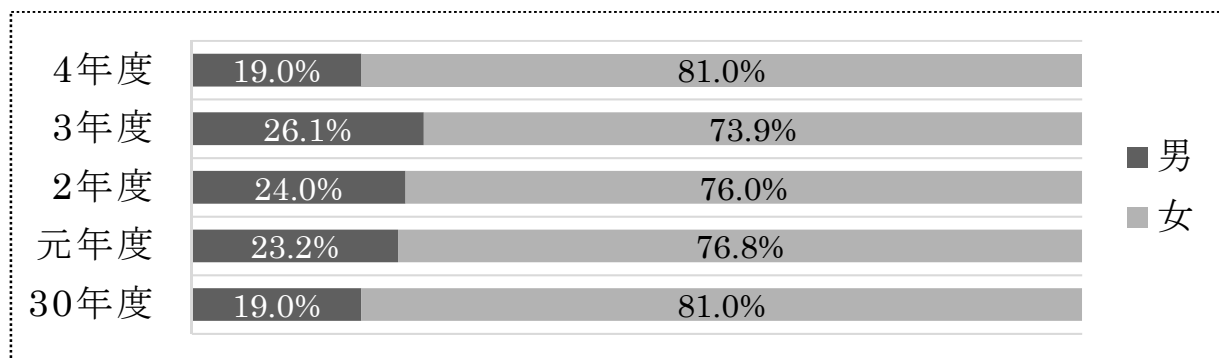
	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
身体的虐待	73.0%	75.8%	80.0%	74.8%	79.0%
介護・世話の放棄・放任	15.1%	16.8%	9.0%	11.8%	11.4%
心理的虐待	31.7%	31.6%	38.0%	34.5%	34.3%
性的虐待	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
経済的虐待	22.2%	10.5%	11.0%	16.0%	18.1%

※当該年度に虐待と判断された事例の被虐待者の実数に占める各虐待類型の人数の割合

④ 被虐待高齢者の性別

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
被虐待高齢者の人数	126	95	100	119	105
男	24	22	24	31	20
女	102	73	76	88	85
不明	0	0	0	0	0

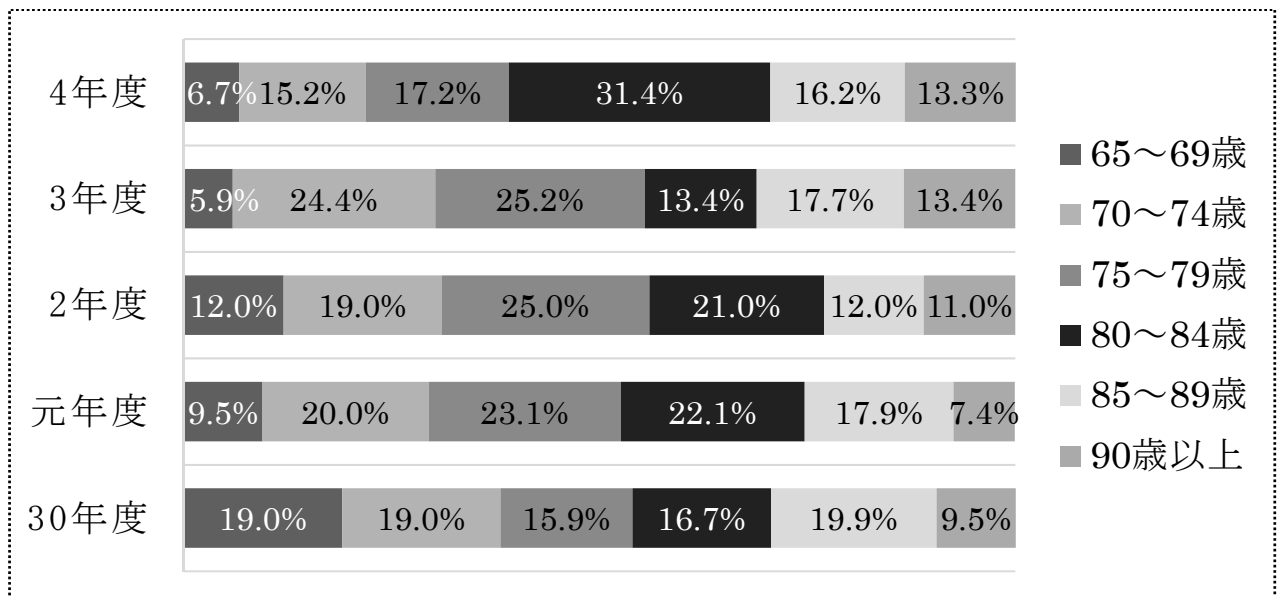
※当該年度に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計



⑤ 被虐待高齢者の年齢

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
被虐待高齢者の人数	126	95	100	119	105
65～69歳	24	9	12	7	7
70～74歳	24	19	19	29	16
75～79歳	20	22	25	30	18
80～84歳	21	21	21	16	33
85～89歳	25	17	12	21	17
90歳以上	12	7	11	16	14
不明	0	0	0	0	0

※当該年度に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

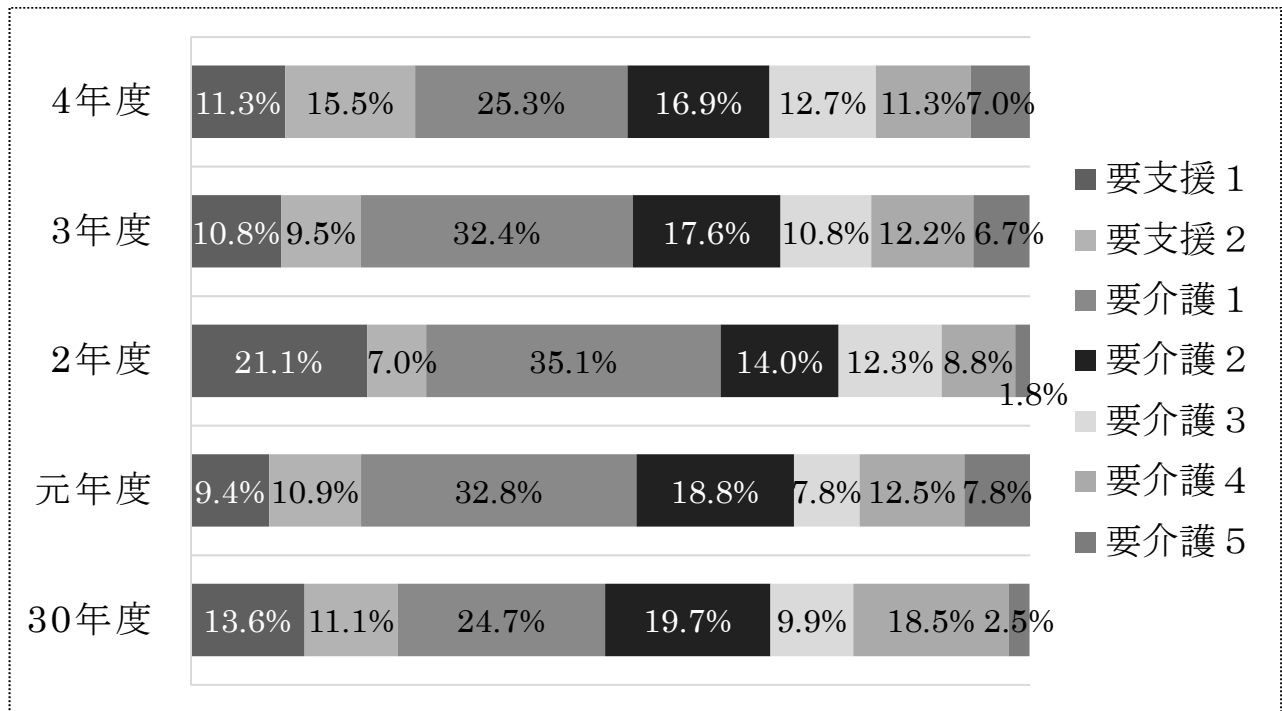


⑥ 被虐待者の介護保険の申請

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
被虐待高齢者の人数	126	95	100	119	105
未申請	32	19	41	44	33
申請中	4	1	2	0	1
認定済み	81	64	57	74	71
認定非該当（自立）	9	11	0	1	0
不明	0	0	0	0	0

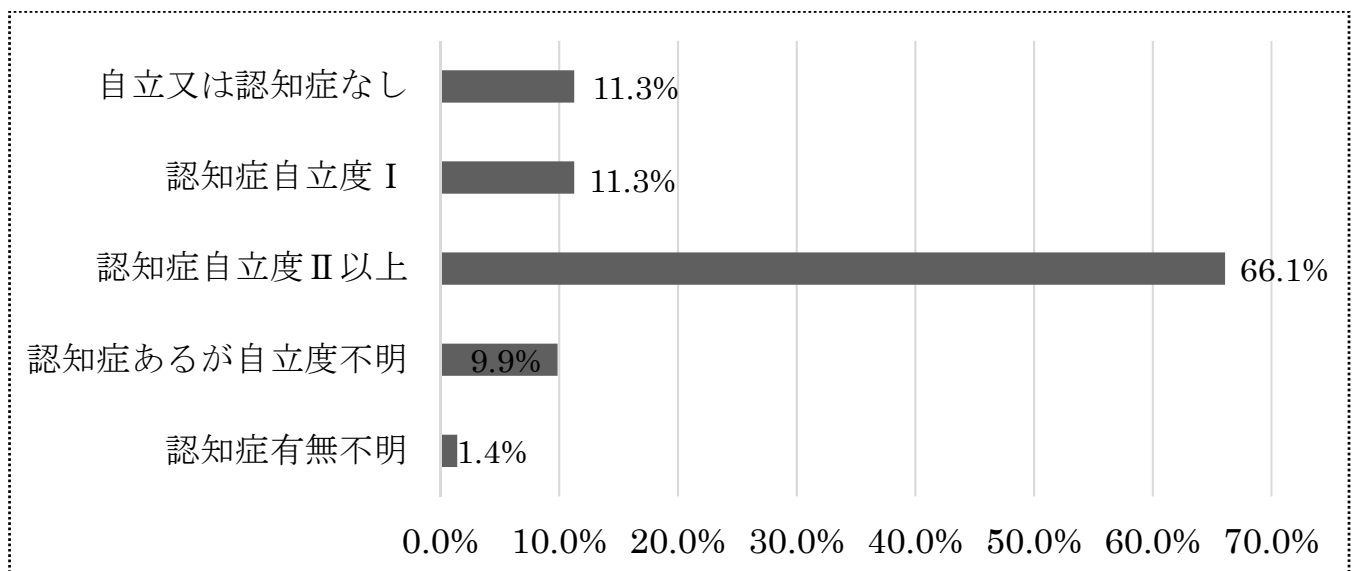
⑦ 介護保険認定済者の要介護度

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
被虐待介護保険認定済者	81	64	57	74	71
要支援1	11	6	12	8	8
要支援2	9	7	4	7	11
要介護1	20	21	20	24	18
要介護2	16	12	8	13	12
要介護3	8	5	7	8	9
要介護4	15	8	5	9	8
要介護5	2	5	1	5	5
不明	0	0	0	0	0

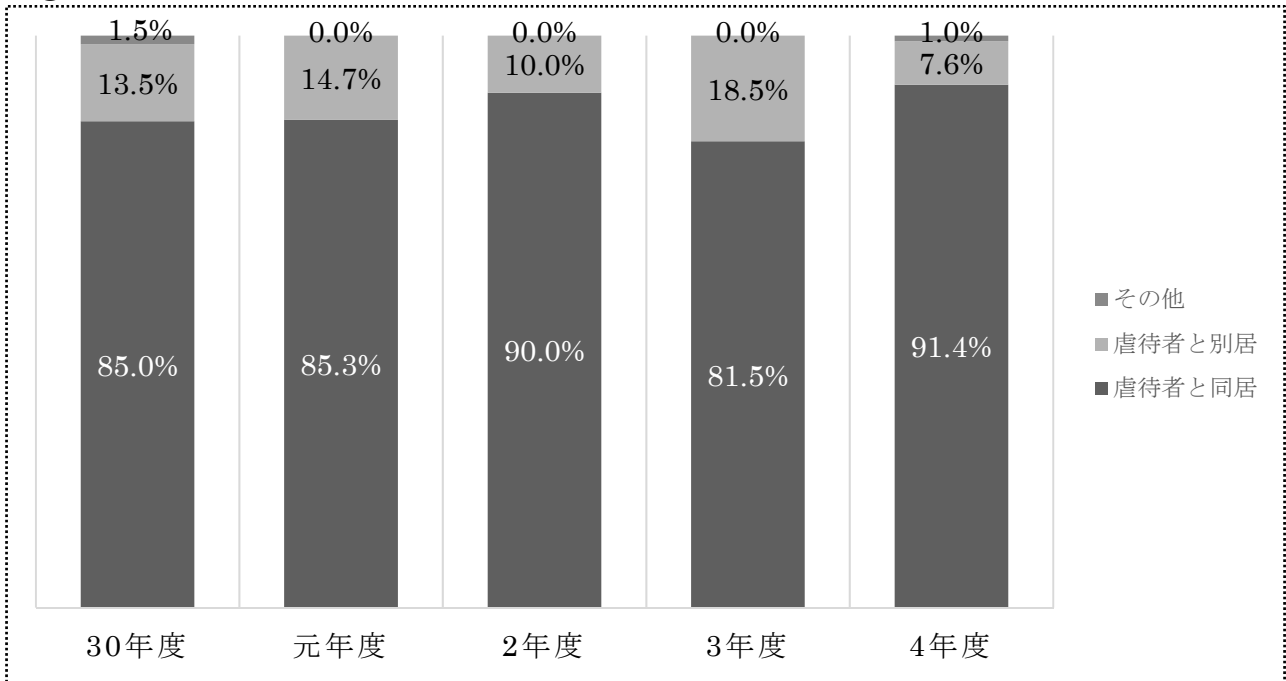


⑧ 介護保険認定済者の認知症日常生活自立度

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
被虐待介護保険認定済者	81	64	57	74	71
自立又は認知症なし	15	12	5	5	8
認知症自立度Ⅰ	15	9	10	14	8
認知症自立度Ⅱ以上（M含む）	49	42	35	46	47
認知症あるが自立度不明	1	0	6	7	7
認知症有無不明	1	1	1	2	1



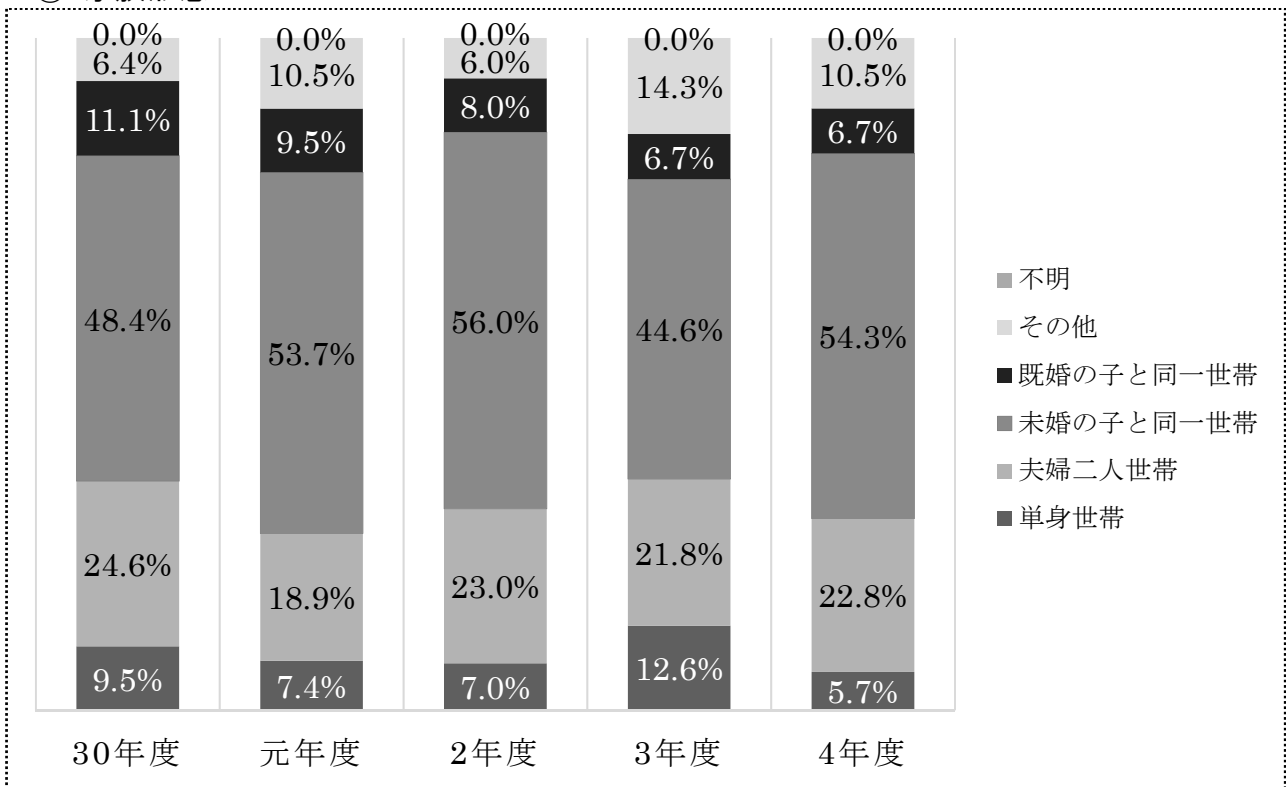
⑨ 虐待者との同居・別居



※被虐待者の実数に占める同居状況の人数の割合

4年度の同居の内訳：虐待者とのみ同居 64.7% 虐待者及び他家族と同居 26.7%

⑩ 家族形態



※被虐待者の実数に占める家族形態の人数の割合

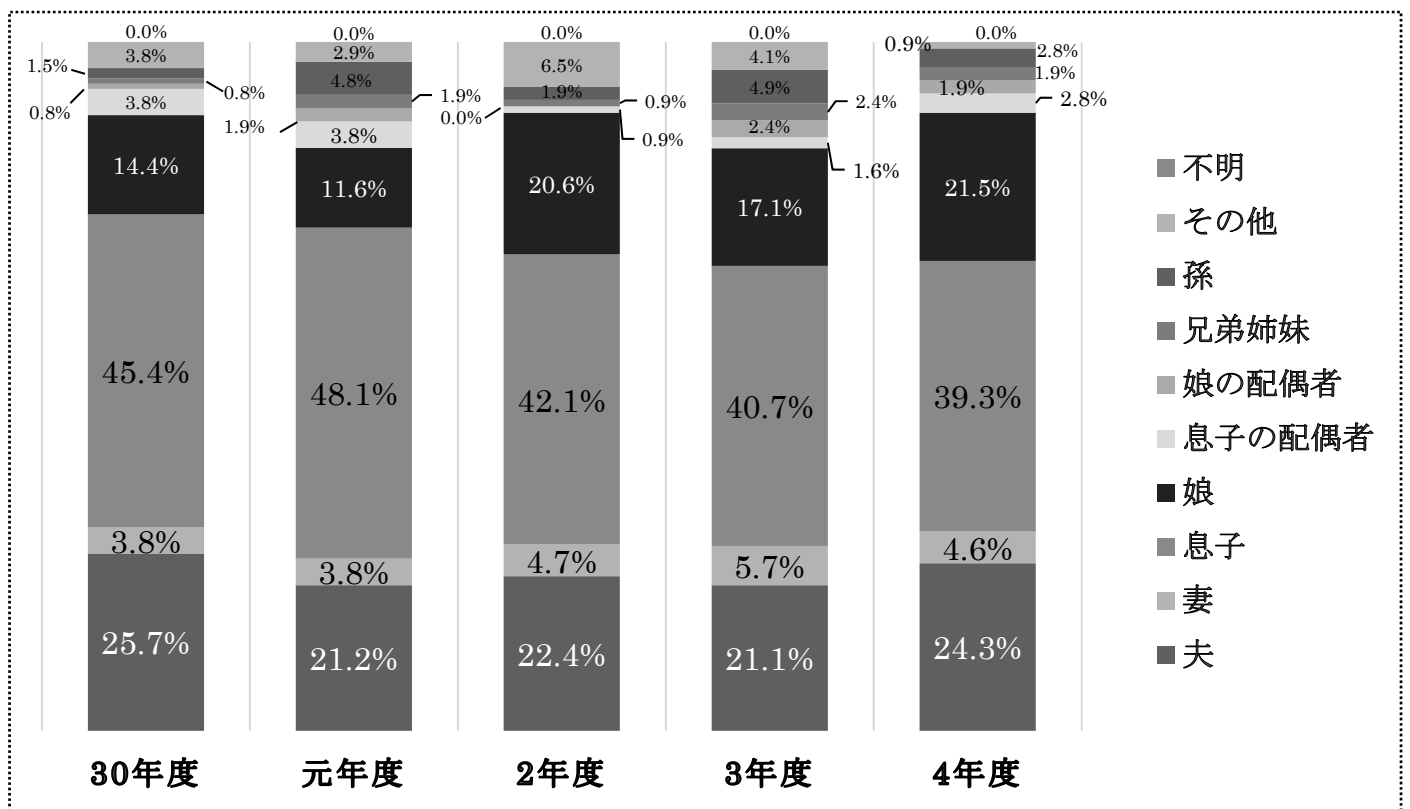
4年度の「未婚の子と同一世帯54.3%」の内訳： 配偶者がいたことのない子と同一 36.2%
配偶者と離別・死別等した子と同一 18.1%

4年度の「その他10.5%」の内訳： その他の親族と同居 3.8%
非親族と同居 1.9%
その他（既婚及び未婚の子と同居、入院中等）4.8%

⑪ 被虐待者から見た虐待者の続柄

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
夫	34	22	24	26	26
妻	5	4	5	7	5
息子	60	50	45	50	42
娘	19	12	22	21	23
息子の配偶者(嫁)	5	4	1	2	3
娘の配偶者(婿)	1	2	0	3	2
兄弟姉妹	1	2	1	3	2
孫	2	5	2	6	3
その他	5	3	7	5	1
不明	0	0	0	0	0
合計	132	104	107	123	107

※虐待者の人数は、被虐待者ごとにカウントしたため延べ数

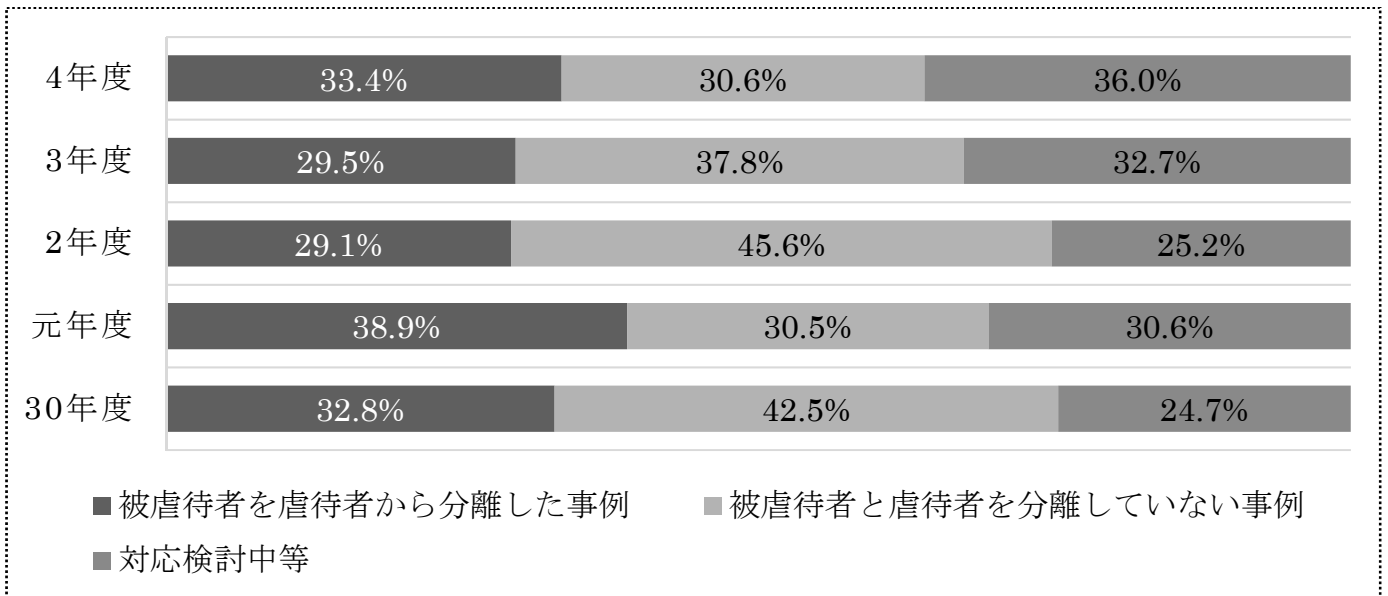


女性、高齢、要介護状況、認知症など高齢者の状況と、介護に不慣れな同居の家族など養護者の状況が虐待の要因として挙げられる。

⑫ 虐待への対応（分離の有無）

	人数	構成割合 (%)
被虐待者の保護として虐待者からの分離を行った事例	37	33.4
被虐待者と虐待者を分離していない事例	34	30.6
現在対応について検討・調整中の事例	2	1.8
虐待判断時点で既に分離状態の事例(別居、入院、入所等)	36	32.4
その他	2	1.8
合計	111	100.0

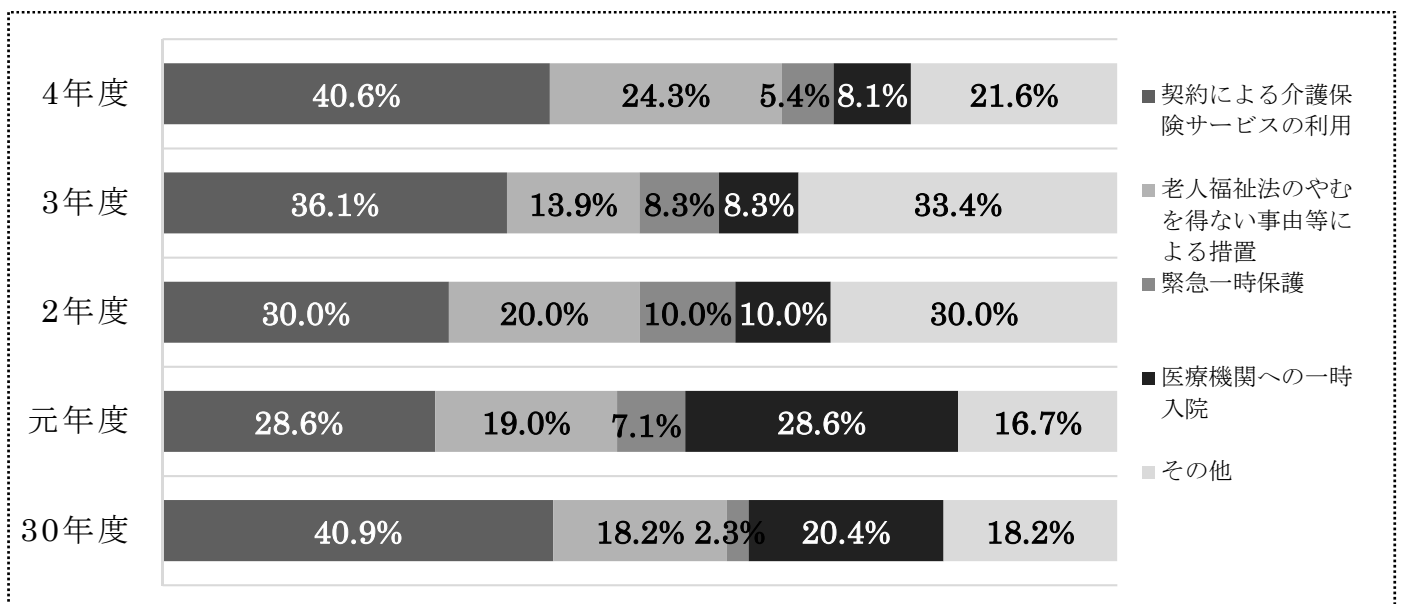
※4年度に対応した事例（令和4年度以前に虐待と判断し、対応が4年度となった事例を含む。）



※対応事例の人数に占める各対応事例の人数の割合

⑬ 分離を行った場合の対応内容

対応内容	人数	構成割合 (%)	面会制限を行った事例(内数)
契約による介護保険サービスの利用	15	40.6	6
老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置	9	24.3	7
緊急一時保護	2	5.4	0
医療機関への一時入院	3	8.1	1
上記以外の住まい・施設等の利用	8	21.6	2
虐待者を高齢者から分離(転居等)	0	0	0
その他	0	0	0
合計	37	100.0	16



※対応事例の人数に占める各対応事例の人数の割合

- ・ 分離対応は3～4割で推移。
- ・ 分離事例として、老人福祉法に基づく市町の措置の実施割合は2割程度で推移。

⑭ 分離していない場合の対応内容

		人数
経過観察以外の対応	養護者に対する助言・指導	21
	養護者が介護負担軽減のための事業に参加	1
	被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	1
	既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し	6
	被虐待者が介護保険サービス以外のサービスを利用	1
	その他	10
経過観察(見守り)		5
合計(累計)		45
合計(人数)		34

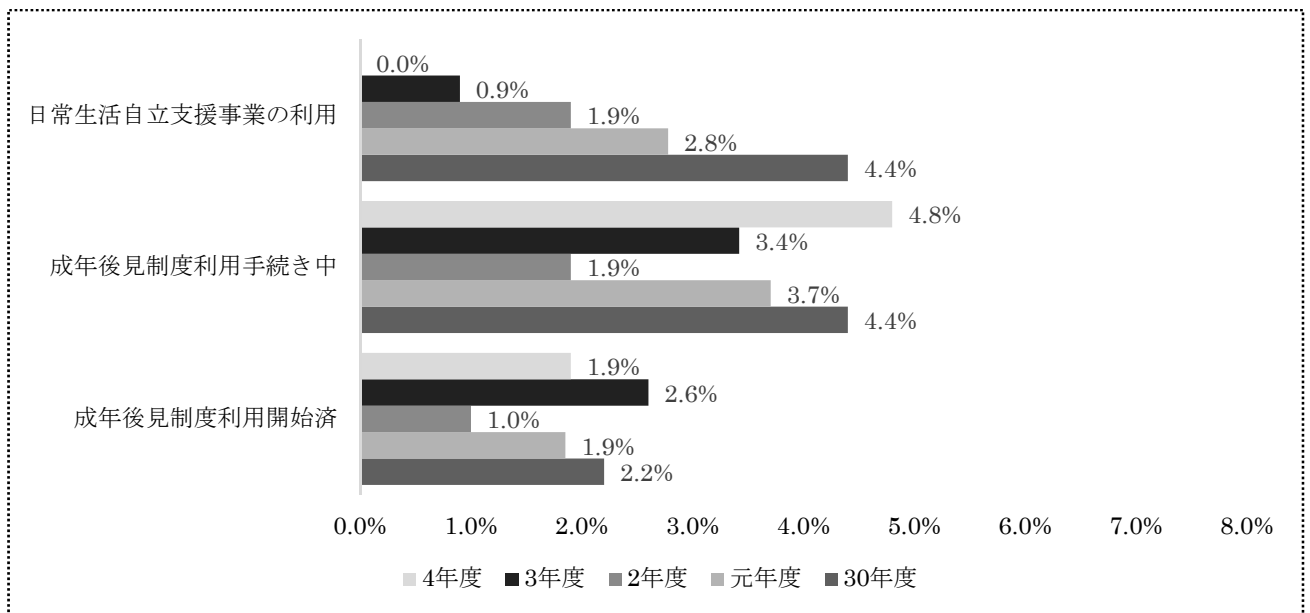
※当該年度に対応した事例のうち、分離していない場合の対応内容（複数対応あり）

経過観察以外の対応として養護者に対する助言・指導のほか、高齢者に対してケアプランの見直しなど介護保険サービスの利用等を支援している。

⑮ 成年後見制度等の利用状況

		人数
(内数)	成年後見制度利用開始済	2
	成年後見制度利用手続き中	5
	市町長申立あり	7
	市町長申立なし	0
日常生活自立支援事業利用開始		0

※当該年度の対応事例における被虐待者の人数を集計



⑯ 令和5年3月31日の状況

	人数	構成割合(%)
対応継続	65	58.6
終結	46	41.4
合計	111	100.0

※4年度に対応した事例（令和4年度以前に虐待と判断し、対応が4年度となった事例を含む。）の被虐待者について集計

⑰ 虐待の発生要因（複数回答）

		件数	構成割合 (%)
虐待者側の 要因	介護疲れ・介護ストレス	51	49.5
	虐待者の介護力の低下や不足	45	43.7
	孤立・補助介護者の不在等	37	35.9
	「介護は家族がすべき」といった周囲の声、世間体に対するストレスやプレッシャー	7	6.8
	知識や情報の不足	58	56.3
	理解力の不足や低下	55	53.4
	虐待者の外部サービス利用への抵抗感	24	23.3
	障害・疾病	35	34.0
	障害疑い・疾病疑い	27	26.2
	精神状態が安定していない	61	59.2
	ひきこもり	10	9.7
	被虐待者との虐待発生までの人間関係	52	50.5
	家族環境(生育歴・虐待の連鎖)	27	26.2
	他者との関係のとりづらさ・資源への繋がりがづらさ	52	50.5
	飲酒の影響	15	14.6
	依存(アルコール、ギャンブル、関係性等)	21	20.4
	その他	12	11.7
被虐待者の 状況	認知症の症状	55	53.4
	精神障害(疑いを含む)、高次脳機能障害、知的障害、認知機能の低下	31	30.1
	身体的自立度の低さ	39	37.9
	排泄介助の困難さ	30	29.1
	外部サービス利用に抵抗感がある	25	24.3
	障害・疾病	34	33.0
	障害疑い・疾病疑い	11	10.7
	その他	11	10.7
家庭の 要因	経済的困窮・債務(経済的問題)	43	41.7
	家庭内の経済的利害関係(財産、相続)	15	14.6
	(虐待者以外の)他家族との関係の悪さほか家族関係の問題	40	38.8
	(虐待者以外の)配偶者や家族・親族の無関心、無理解、非協力	24	23.3
	その他	3	2.9
その他	ケアサービスの不足の問題	33	32.0
	ケアサービスのミスマッチ等マネジメントの問題	5	4.9
	その他	3	2.9

⑱ 養護者による高齢者虐待による死亡事例（4年度0件）